

専攻教室の紹介

●専攻教室について

専攻教室では、各専攻教室が掲げる到達目標を実現するため、農作物の栽培技術や農業経営の手法について専門性の高い実習に取り組んでいます。また、専攻実習等の共同作業を通じてチームワークの大切さやありがたさも実感できます。本校には、全国の農業大学校の中で最も多い11の専攻教室があります。

本校での集大成である、課題解決型学習の場でもあり、特に優秀な課題については以下のような賞を受けています。

全国農業大学校等プロジェクト発表会

R4 農林水産大臣賞

「スクミリングガイ捕殺トラップの開発とブランド米開発システムの構築」(病害虫)

R5 農林水産省経営局長賞 (全国第2位)

「規格外レタスの新たな活用方法の開発」(食品加工)

R5 ヤンマーアグリ株式会社賞 (全国第2位)

「倒伏しない『コシヒカリ』の栽培方法の検討」(作物)

みどり戦略学生チャレンジ

R5 グランプリ賞 (第1位)

「物理的及び生物的防除を利用した環境保全型農業の実践」(病害虫)

R5 チャレンジ賞

「食品残渣の活用による環境負荷低減への取組」(土壌肥料)



作物専攻教室

アピールポイント

農業機械を使用した大規模生産技術を学んでいます。栽培品目は水稻、豆類、雑穀、イモ類など幅広く、作物栽培の基礎から生産上の課題解決手法まで習得できます。

学習到達目標

水稻・畑作物の基本的な栽培管理技術の習得

身に付く知識・技術

- 水稻および畑作物の栽培管理技術
- 農業機械の操作方法、乾燥調製方法
- 水稻および畑作物の生育、収量調査方法と解析手法
- 穀類および畑作物の販売方法

課題解決型学習の例

- 水稻品種「粒すけ」の高温耐性について
- ジャンボタニシの新たな防除方法の確立
- サツマイモの株間と施肥量の違いによる収量と品質の変化



施設野菜専攻教室

アピールポイント

自らの責任で育苗から収穫までの野菜栽培管理を実践することで、今までに経験したことのないような達成感と喜びを味わえます。

学習到達目標

施設野菜の栽培と経営において必要な知識と技術の習得

身に付く知識・技術

- 果菜類を中心とした施設野菜の栽培技術
- 環境制御ハウスを用いたスマート農業の知識・技術
- 施設の管理方法及び機械の操作技術
- 経営に関する知識及び販売方法

課題解決型学習の例

- キュウリに発生するアザミウマ類防除方法の検討
- 持続可能なトマトの袋栽培の検討
- 酵素液肥がメロンの生育・品質・収量にあたる影響



露地野菜専攻教室

アピールポイント

季節の野菜(果菜類、葉茎菜類、根菜類、いも類)を栽培し、観察し、食べることで野菜栽培の基礎知識を習得できます。

学習到達目標

主要な露地野菜と無加温ハウスで栽培される野菜の生理生態や肥培管理及び出荷調製技術の習得

身に付く知識・技術

- 野菜の分類と作型
- 野菜の育苗と栽培管理
- 病害虫の診断と対処法
- 品目ごとの経営収支と作型を組み合わせた経営の考え方
- 環境負荷を考慮した環境保全型農業

課題解決型学習の例

- スイカの糖度を高める窒素追肥量や土壌水分管理方法の検討
- サトイモのかん水作業を省力化する畝内かん水の検証
- カバークロップを用いた栽培に適した野菜及び作型の選定

